

1 四角形 ABCD を底面とする四角錐 OABCD を考える。四角形 ABCD は、辺 AD と辺 BC が平行で、 $AB=CD$ 、 $\angle ABC=\angle BCD$  を満たすとする。

さらに、 $\vec{OA}=\vec{a}$ 、 $\vec{OB}=\vec{b}$ 、 $\vec{OC}=\vec{c}$  として

$$|\vec{a}|=1, \quad |\vec{b}|=\sqrt{3}, \quad |\vec{c}|=\sqrt{5}$$

$$\vec{a}\cdot\vec{b}=1, \quad \vec{b}\cdot\vec{c}=3, \quad \vec{a}\cdot\vec{c}=0$$

であるとする。

(1)  $\angle AOC=\boxed{\text{アイ}}^\circ$  により、三角形 OAC の面積は  $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ウ}}}}{\boxed{\text{エ}}}$  である。

(2)  $\vec{BA}\cdot\vec{BC}=\boxed{\text{オカ}}$ 、 $|\vec{BA}|=\sqrt{\boxed{\text{キ}}}$ 、 $|\vec{BC}|=\sqrt{\boxed{\text{ク}}}$  であるから、 $\angle ABC=\boxed{\text{ケコサ}}^\circ$  である。さらに、辺 AD と辺 BC が平行であるから、 $\angle BAD=\angle ADC=\boxed{\text{シス}}^\circ$  である。よって、 $\vec{AD}=\boxed{\text{セ}}\vec{BC}$  であり  $\vec{OD}=\vec{a}-\boxed{\text{ソ}}\vec{b}+\boxed{\text{タ}}\vec{c}$

と表される。また、四角形 ABCD の面積は  $\frac{\boxed{\text{チ}}\sqrt{\boxed{\text{ツ}}}}{\boxed{\text{テ}}}$  である。

(3) 三角形 OAC を底面とする三角錐 BOAC の体積  $V$  を求めよう。

3点 O, A, C の定める平面  $\alpha$  上に、点 H を  $\vec{BH}\perp\vec{a}$  と  $\vec{BH}\perp\vec{c}$  が成り立つようにとる。

$|\vec{BH}|$  は三角錐 BOAC の高さである。H は  $\alpha$  上の点であるから、実数  $s, t$  を用いて

$\vec{OH}=s\vec{a}+t\vec{c}$  の形に表される。

$$\vec{BH}\cdot\vec{a}=\boxed{\text{ト}}, \quad \vec{BH}\cdot\vec{c}=\boxed{\text{ト}} \quad \text{により, } s=\boxed{\text{ナ}}, \quad t=\frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}$$

である。よって、 $|\vec{BH}|=\frac{\sqrt{\boxed{\text{ネ}}}}{\boxed{\text{ノ}}}$  が得られる。したがって、(1)により、

$$V=\frac{\boxed{\text{ハ}}}{\boxed{\text{ヒ}}}$$

であることがわかる。

(4) (3) の  $V$  を用いると、四角錐 OABCD の体積は  $\boxed{\text{フ}}V$  と表せる。さらに、

四角形 ABCD を底面とする四角錐 OABCD の高さは  $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ヘ}}}}{\boxed{\text{ホ}}}$  である。

解答 (アイ) 90  $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ウ}}}}{\boxed{\text{エ}}}$   $\frac{\sqrt{5}}{2}$  (オカ) -1  $\sqrt{\boxed{\text{キ}}}$   $\sqrt{2}$   $\sqrt{\boxed{\text{ク}}}$   $\sqrt{2}$

(ケコサ) 120 (シス) 60 (セ) 2 (ソ) 2 (タ) 2

$\frac{\boxed{\text{チ}}\sqrt{\boxed{\text{ツ}}}}{\boxed{\text{テ}}}$   $\frac{3\sqrt{3}}{2}$  (ト) 0 (ナ) 1  $\frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}$   $\frac{3}{5}$   $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ネ}}}}{\boxed{\text{ノ}}}$   $\frac{\sqrt{5}}{5}$

$\frac{\boxed{\text{ハ}}}{\boxed{\text{ヒ}}}$   $\frac{1}{6}$  (フ) 3  $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ヘ}}}}{\boxed{\text{ホ}}}$   $\frac{\sqrt{3}}{3}$

2  $a$  を  $0 < a < 1$  を満たす定数とする。三角形  $ABC$  を考え、辺  $AB$  を  $1:3$  に内分する点を  $D$ 、辺  $BC$  を  $a:(1-a)$  に内分する点を  $E$ 、直線  $AE$  と直線  $CD$  の交点を  $F$  とする。

$\vec{FA} = \vec{p}$ ,  $\vec{FB} = \vec{q}$ ,  $\vec{FC} = \vec{r}$  とおく。

(1)  $\vec{AB} = \boxed{\text{ア}}$  であり  $|\vec{AB}|^2 = |\vec{p}|^2 - \boxed{\text{イ}} \vec{p} \cdot \vec{q} + |\vec{q}|^2 \dots\dots \text{①}$  である。ただし、  
 $\boxed{\text{ア}}$  については、当てはまるものを、次の ① ~ ③ のうちから一つ選べ。

- ①  $\vec{p} + \vec{q}$     ②  $\vec{p} - \vec{q}$     ③  $\vec{q} - \vec{p}$     ④  $-\vec{p} - \vec{q}$

(2)  $\vec{FD}$  を  $\vec{p}$  と  $\vec{q}$  を用いて表すと  $\vec{FD} = \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}} \vec{p} + \frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}} \vec{q} \dots\dots \text{②}$  である。

(3)  $s, t$  をそれぞれ  $\vec{FD} = s\vec{r}$ ,  $\vec{FE} = t\vec{p}$  となる実数とする。 $s$  と  $t$  を  $a$  を用いて表そう。  
 $\vec{FD} = s\vec{r}$  であるから、②により  $\vec{q} = \boxed{\text{キク}} \vec{p} + \boxed{\text{ケ}} s\vec{r} \dots\dots \text{③}$  である。

また、 $\vec{FE} = t\vec{p}$  であるから  $\vec{q} = \frac{t}{\boxed{\text{コ}} - \boxed{\text{サ}}} \vec{p} - \frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{コ}} - \boxed{\text{サ}}} \vec{r} \dots\dots \text{④}$  である。

③ と ④ により  $s = \frac{\boxed{\text{スセ}}}{\boxed{\text{ソ}}(\boxed{\text{コ}} - \boxed{\text{サ}})}$ ,  $t = \boxed{\text{タチ}}(\boxed{\text{コ}} - \boxed{\text{サ}})$  である。

(4)  $|\vec{AB}| = |\vec{BE}|$  とする。 $|\vec{p}| = 1$  のとき、 $\vec{p}$  と  $\vec{q}$  の内積を  $a$  を用いて表そう。

① により  $|\vec{AB}|^2 = 1 - \boxed{\text{イ}} \vec{p} \cdot \vec{q} + |\vec{q}|^2$  である。

また  $|\vec{BE}|^2 = \boxed{\text{ツ}}(\boxed{\text{コ}} - \boxed{\text{サ}})^2 + \boxed{\text{テ}}(\boxed{\text{コ}} - \boxed{\text{サ}}) \vec{p} \cdot \vec{q} + |\vec{q}|^2$  である。

したがって  $\vec{p} \cdot \vec{q} = \frac{\boxed{\text{トナ}} - \boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}$  である。

解答 (ア) ②    (イ) 2     $\frac{\text{ウ}}{\text{エ}} \frac{3}{4}$      $\frac{\text{オ}}{\text{カ}} \frac{1}{4}$     (キク) -3    (ケ) 4  
 (コ) 1    (サ)  $a$     (シ)  $a$     (スセ)  $-a$     (ソ) 4    (タチ) -3  
 (ツ) 9    (テ) 6     $\frac{\text{トナ} - \text{ニ}}{\text{ヌ}} \frac{3a - 2}{2}$